



2023年8月1日

各 位

会 社 名 住友理工株式会社
代表者名 執行役員社長 清水 和志
(コード：5191、東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 法務部長兼広報 IR 部長 日比野 伸哉
(TEL. 052-571-0280)

当社化成品事業における生産・供給体制再編に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社化成品事業における生産・供給体制再編に関する基本方針を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社化成品事業における生産・供給体制再編の理由

当社は、2029年度を最終年度とする経営ビジョン「2029年住友理工グループ Vision」(2029V) および 2025年度を最終年度とする中期経営計画「2025年住友理工グループ中期経営計画」(2025P) を策定し、本年5月に公表しております。その2025Pにおける収益戦略の一つとして、「課題拠点の構造改革完遂と資本効率向上により安定的な収益・財務基盤の確立を図ること」を掲げており、具体的には、すでに着手している事業構造改革の完遂として、北米・欧州・化成品事業の課題拠点立て直しによる収益・財務基盤安定化を目指しております。今般の生産・供給体制再編は、この化成品事業の構造改革に関連するものです。

化成品事業において、当社は適応力のある経営戦略を推進しております。顧客のニーズや市場の変化にスピーディかつ適切に対応するため、2021年5月のニュースリリースでお知らせしたとおり、主要拠点の集約・再編を進めてまいりました。これまでに、化成品事業の主要拠点である富士裾野製作所における自動車用防振ゴム事業(防振事業)の他拠点・グループ会社への完全移管と、化成品事業のグループ会社への一部移管が完了しています。これにより、顧客ニーズや市場環境の変化を適切に考慮した最適な生産・供給体制の再編に成功し、将来的な損益の正常化への道筋を確保いたしました。

この成果を踏まえ、今般、当社富士裾野製作所において、有形資産の譲渡や人的資本・リソースの最適再配置を含む資産の有効活用と資本効率の向上をより一層図ることで、当社グループ全体の経営資源の最適化を進め、経営体質の強化をさらに推し進めることといたします。特に、有形資産の譲渡や人的資本・リソースの最適再配置に際しては、当社は住友電気工業グループの一員として、上場子会社としての独立性および自主性を適切に維持しつつ、同社グループとの強力なシナジーを活かし、上場子会社のメリットを最大限に活用した対応を目指してまいります(※当社富士裾野製作所近辺に所在する同社グループ傘下の住友電装グループ会社等への有形資産の譲渡や住友電装グループ会社等への当社一部従業員の転籍等)。このような戦略的な取り組みにより、より一層の事業拡大と競争力の向上を目指し、株主・投資家の皆様や顧客、取引先、地域社会、従業員を含めたすべてのステークホルダーの皆様の信頼に応える成長企業を引き続き目指してまいります。

なお、当社は2025Pで掲げた化成品事業を含む一連の構造改革の完遂により、顧客や市場の変化

に迅速かつ適切に対応し、新たなニーズに応えるための経営資源の柔軟な相互活用を図ってまいります。また、住友電気工業グループとの連携強化により、より広い範囲でのシナジーを生み出し、成果を最大化していきます。

2. 富士裾野製作所の概要

①名称	住友理工株式会社 富士裾野製作所
②所在地	静岡県裾野市須山 1220 番地の 8 (富士裾野工業団地内)
③事業内容	事務機器向け精密部品の製造・販売
④設立	1990 年 11 月
⑤面積	土地：124,000 m ² 建屋：23,500 m ²
⑥従業員数	193 名 (2023 年 7 月末時点)

3. 富士裾野製作所の再編時期

2026 年 3 月までの完了を予定

4. 今後の見通しおよび業績に与える影響

富士裾野製作所の従業員は、現時点では、当社グループ内での異動や、当社富士裾野製作所近辺に所在する住友電気工業グループ傘下の住友電装グループ会社等への転籍等を予定しております。また、富士裾野製作所の資産有効活用等に伴う再編費用および業績への影響については現在精査中であり、今後開示すべき事項が発生した場合は、確定次第速やかにお知らせいたします。

以 上